

社協だよりサポートなよろ

Vol.50 令和3年7月号

Contents (目次)

- 1ページ・・・着任のご挨拶／新役員のご案内
- 2ページ・・・令和2年度名寄市社会福祉協議会 事業報告／愛情銀行からのあ礼
- 3ページ・・・令和2年度名寄市社会福祉協議会 決算報告
赤い羽根共同募金「なよろうピンバッチ」のご案内
- 4ページ・・・「第5回市民ボッチャ交流大会」のご案内



「キッズ・ミュージック・ワークショップ」にて (2021.3.7)

着任のご挨拶

社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会

会長 中島 道 昭



市民のみなさまには、平素から名寄市社会福祉協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

坂田仁前会長の後を引き継ぎ、令和3年6月24日から会長に就任いたしました。微力ではございますが、地域福祉推進のため、力を尽くして参りますので、みなさまのご指導方、よろしくお願い致します。

私はこれまで、基幹産業であります農業の発展に携わり、農業団体をお預かりする職責を担って参りました。

お世話になりました市民のみなさまに、その貴重な経験を活かし、少しでも恩返しができればと、この度のご縁を慎んでお受けさせて頂きました。

しかし、地域福祉に携わるのは初めての経験となりますので、まずは坂田仁前会長が積み上げてこられた「明るい社協づくり」を継承し、静かなスタートを心がけて参ります。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響など、対応に苦慮する昨今ですが、市民に寄り添いながら、更に「愛され、必要とされる社協」となれるよう、役職員一丸となって努力して参りますので、さらなるご指導とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症拡大が一日も早く終息しますことと、市民のみなさまのご健康とご多幸をお祈りし、就任のご挨拶とさせていただきます。

■中島会長の主な経歴

道北なよろ農業協同組合 代表理事組合長 (平成18年4月26日～平成29年6月15日)

道北なよろ農業協同組合 会長理事 (平成29年6月16日～令和3年4月9日)

ホクレン農業協同組合連合会 代表監事 (平成29年6月20日～令和2年6月23日)

名寄日台親善協会 会長 (平成27年7月17日～現在に至る)

※上記のほか、多くの役職を歴任されております。

名寄市社会福祉協議会 新役員のご案内

任 期

令和3年6月24日開催
第1回評議員会終結後

～

選任後2年以内に終了する会計年度のうち
最終のものに関する定時評議員会の終結時

〈会 長〉中島 道昭 〈副 会 長〉中村 雅光、川原 夏子、中村 幸尚 〈常務理事〉天野 信二
〈理 事〉木田 繁太郎、菊池 隆、松崎 義昭、小林 修、宮下 信子、加藤 記味子、馬場 義人、小川 勇人
〈監 事〉小川 進、熊谷 守、高橋 勝

令和2年度名寄市社会福祉協議会 事業報告

昨年度は新型コロナウイルスが猛威を振るい、日本社会も厳しい状況におかれ、名寄市においても市民の皆様の健康や地域経済に大きな打撃を与える大変な一年となりました。

地域福祉を担う当協議会の事業運営にも大きく影響し、感染拡大防止の観点から、当初予定していた多数の事業の中止や計画等を変更し、規模縮小を余儀なくされる場面が多々ありました。

この様な中、計画策定から3年が経過した第4期地域福祉実践計画「つながり」の実践における中間評価を実施し、多様化、多分野化するニーズに対応すべく課題を明確化し、課題解決に向け常に市民の皆様のもとに足を運ぶ「きめ細やか」な事業展開・サービス提供を心がけて参りました。

また、緊急時・災害時においても立ち止まることのない「災害に強いまちづくり」の具現化のため、昨年より運用を開始している「社協職員行動マニュアル」に令和2年4月より「事業継続計画」及び「災害ボランティアセンター設置運営マニュアル」の追加運用を開始し、緊急時においても最大限のサービス提供ができるよう更なる充実強化に努めて参りました。



(市民ポッチャ交流大会)

身近な地域のつながり、支え合いづくり

新型コロナウイルスの影響が続く中、新たに取り組んだ「地域つながり支援事業」では、民生委員児童委員や町内会役員の皆様にご協力いただき地域の高齢者世帯などへお届けいただいた「こんにちはレター」「まごころマスク」をはじめ、コロナ禍においてもつながりを絶やすことなく支え合うことのできる地域づくりにつながりました。

また、これらの活動を名寄市立大学をはじめとした様々な関係機関と共に進めることにより、活動のより一層の充実やネットワークの拡大につながりました。

地域に根ざした福祉サービスの展開

住みなれた地域で自立した生活を安心して送れるよう、指定居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所（なよろヘルパーセンターぬくもり）の機能強化に努め、「利用者の心のケア」、「利用者へ寄り添った支援」を心がけ、関係機関や地域福祉事業との連携を図りながら利用者に信頼される支援に努めました。

また、事業経営の安定に不可欠となる利用者の確保に向け、より質の高いサービスの提供に努めるとともに、災害時における事業所としての体制整備を意識しながら、介護支援専門員及びホームヘルパーの人材確保や育成、地域や関係機関との連携などに取り組みました。

世代・分野を超えた福祉のまちづくり

コロナ禍により「ふれあい広場」などが中止となる中、「市民ポッチャ交流大会」や「三味線ライブinなよろ」では、多くの方に感染防止対策にご協力をいただき、無事開催することができました。

多分野・多世代地域活動拠点「ここほっと」では、道北センター福祉会による「ここほっとカフェ」を開始するなど、世代や分野を超えた交流を図ることができました。

また、生活相談支援センターでは、新型コロナウイルスの影響によって減収した方を対象とした生活福祉資金特別貸付の対応が増加する中、関係機関との連携のもときめ細かい相談支援を展開し、成年後見センターにおいては、制度に関する相談支援の他、法人後見として受任している方々の地域生活支援にあたりました。

地域福祉事業の更なる推進・強化 を担える社協組織の確立

第4期地域福祉実践計画「つながり」の実施から3年が経過し、各部会において単年度評価と併せ中間評価を実施し、多様化、多分野化するニーズや課題をより明確化し効果的な事業推進に努めました。

また、令和3年6月の役員・評議員改選に向け、適正な定数を検討し、必要に応じた定数改正を行いました。

事務局組織の強化及び役職員の資質向上については、ウェブ研修による役職員の育成に取り組むほか、関係機関や職員間、係間の連携を図り、災害時にも多くの市民の生活を守ることのできる社協の体制整備に向け、「事業継続計画」及び「災害ボランティアセンター設置運営マニュアル」の追加運用を開始し、緊急時においても最大限のサービス提供ができるよう更なる充実強化に努めました。

愛情銀行への預託ありがとうございました！

愛情銀行は、昭和44年に市民の皆さんの愛情を善意として積み立て、社会福祉事業に活用することを目的に開始されました。現在は、会葬礼状としてご利用いただいている「福祉はがき」をはじめ、チャリティ映画会の益金、金銭や物品寄付を、福祉団体の福祉器具購入助成など市内の地域福祉・在宅福祉事業に有効に活用させていただいています。



◇愛情銀行寄託【福祉はがき】

(令和3年4月1日～令和3年5月31日)

月	寄 付 金	件数	月	寄 付 金	件数		寄 付 金	件数
4	155,000円	9	5	175,000円	8	合 計	330,000円	17

◇愛情銀行寄託【一般寄付】

(令和3年4月1日～令和3年5月31日)

月	寄 付 金	件数	月	寄 付 金	件数		寄 付 金	件数
4	31,607円	1	5	20,000円	1	合 計	51,607円	2

令和2年度名寄市社会福祉協議会 決算報告

令和2年度 名寄市社会福祉協議会 会計決算書

(令和3年3月31日) 単位:円

収 入			支 出		
科 目	金 額		科 目	金 額	
事業活動による収入	4,392,800		事業活動による収入	133,107,183	
会費収入	3,035,000		人件費支出	6,615,256	
寄附金収入	42,262,470		事業費支出	22,026,646	
経常経費補助金収入	28,449,478		事務費支出	2,347,000	
事業委託金収入	165,600		共同募金配分金事業費	5,504,000	
事業負担金収入	442,600		助成金支出	138,820	
介護保険事業収入	55,659,332		負担金支出	2,000,000	
障害福祉サービス等事業収入	22,393,950		その他の支出	0	
受取利息配当金収入	12,741		流動資産評価損等による資金減少額		
その他の収入	702,117				
収等施に設よ整支る備	施設整備等補助金収入	593,000	収等施に設よ整支る備	固定資産取得支出	696,168
にそのよるの活動支	長期貸付金回収収入	534,500	にそのよるの活動支	長期貸付金支出	845,500
	積立資産取崩収入	145,520,592		積立資産支出	8,179,047
	その他の活動による収入	1,600,000		その他の活動による支出	120,839,078
収 入 合 計	305,764,180		支 出 合 計	302,298,698	

収入総額305,764,180円-支出総額302,298,698円=3,465,482円

前期末支払資金残高51,127,853円+当期資金収支差額3,465,482円=当期末支払資金残高54,593,335円

令和2年度 名寄市社会福祉協議会 貸借対照表

(令和3年3月31日) 単位:円

資産の部		負債の部	
【流動資産】		【流動負債】	13,907,876
現金	32,550	事業未払金	6,944,827
預貯金	44,056,270	預り金	0
事業未収金	19,125,133	職員預り金	89,076
貯蔵品	291,137	賞与引当金	4,873,973
前払金	122,148	その他の流動負債	2,000,000
【固定資産】	107,249,424	【固定負債】	15,637,251
基本財産	2,000,000	退職給付引当金	15,637,251
定期預金	2,000,000		
その他の固定資産	105,249,424	負債の部合計	29,545,127
建物	8,441,880	純資産の部	
構築物	83,350	基本金	2,000,000
車両運搬具	2	第一号基本金	2,000,000
器具及び備品	1,593,563	国庫補助金等特別積立金	588,059
権利	119,070	国庫補助金等特別積立金	588,059
長期貸付金	1,542,862	その他の積立金	77,531,446
退職給付引当資産	2,012,520	福祉機器積立資産積立金	6,185,648
差入保証金	300,000	財政調整基金積立資産積立金	30,291,458
職員退職積立資産	13,624,731	介護保険事業積立資産積立金	18,830,320
福祉機器積立資産	6,185,648	地域福祉基金積立資産積立金	5,000,000
財政調整基金積立資産	30,291,458	町内会ネットワーク事業	
介護保険事業積立資産	18,830,320	運営資金積立資産積立金	13,152,198
地域福祉基金積立資産	5,000,000	多分野・多世代地域活動拠点	
町内会ネットワーク事業	13,152,198	協議体事業運営資金積立資産積立金	1,977,763
運営資金積立資産		デイサービス事業積立資産積立金	2,094,059
多分野・多世代地域活動拠点	1,977,763	次期繰越活動増減差額	61,212,030
協議体事業運営資金積立資産		(うち当期活動増減差額)	△136,511,612
デイサービス事業積立資産	2,094,059	純資産の部合計	141,331,535
資産の部合計	170,876,662	負債及び純資産の部合計	170,876,662

赤い羽根共同募金限定 「なよろうピンバッチ」完成！！

毎年好評をいただいている「なよろうピンバッチ」が完成しました！
いただいた寄付からバッチの制作費を差し引いた分が、共同募金の寄付金として名寄市で行われる地域福祉活動に役立てられますので、皆様のご協力をお願いいたします。

取扱場所

名寄市総合福祉センター（名寄市西1条南12丁目）
ここほっと（名寄市西4条南8丁目 西條1階）
名寄社協風連支所（名寄市役所風連庁舎1階）

500円の寄付につき1つお配りしています！！



第5回 市民

ボッチャ

参加無料

交流大会

9月25日(土)

会場 名寄市スポーツセンター
(名寄市西1条南12丁目)

午前の部 9:30~12:30 (受付 9時~)

午後の部 13:30~16:30 (受付 13時~)

開催方法

- ① 参加チーム数を午前・午後それぞれ先着24チーム(1チーム3人)とする。
 - ② 3チーム総当たりの予選リーグを行い、上位2チームによる決勝トーナメントを行う。
 - ③ 午前の部・午後の部それぞれの1位~3位に記念品を贈呈する。
- ※この他の詳細については、大会10日程度前までにチーム担当者へ封書にて通知します。

参加チーム数等によって一部変更になる場合があります

参加条件

①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次の項目に該当する場合は、参加をご遠慮いただきます

平熱を超える発熱がある/せき、のどの痛み、風邪等の症状がある/体のだるさ、息苦しさ、疲れやすい/嗅覚や味覚の異常がある/新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触者として、経過観察期間中/同居者が新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触者として、経過観察期間中/同居者や身近な知人に感染が疑われる方がいる/9月11日以降に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされる国、地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触があった

②大会当日、チーム毎に下記の情報を提出いただきます

チーム関係者全員(引率・応援含む)の氏名、年齢、住所、電話番号、当日の体調確認(上記事項への該当の有無)※提出いただく様式は大会10日程度前までに各チーム申込み担当者へ送付します。

③チーム関係者全員のマスク着用を必須とします

コミュニケーションや健康上の理由などによって着用ができない方は除きます。マスクは各自ご用意ください。主催者側での用意はいたしません。

④関係者の来場を最小限にさせていただきます

引率等は最小限にさせていただき、応援のみの来場はご遠慮いただきます。幼児など同行が必要な親族は来場いただいて構いません。

⑤大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください

■新型コロナウイルス感染症等の影響により開催を中止させていただく場合には、申し込み時に記載いただいた担当者へ9月10日(金)までにご連絡させていただきます。

■災害等によって急遽開催を中止させていただく場合があります。その際は、担当者へのご連絡に加え、名寄市協ホームページ、Facebook、LINEにて周知させていただきます。

主催：名寄市社会福祉協議会／名寄市ボランティアセンター
共催：名寄市／名寄市立大学／Nスポーツコミッション
協力：名寄ライオンズクラブ 協賛：一般社団法人 WellbeDesign

大会ルール

誰でも楽しめる

「レクリエーションルール」で開催!

- ① 白・赤・青3種類のボールを使用
- ② 赤チーム・青チームに分かれる
- ③ 白ボールをコート内に転がす
- ④ 白ボールにめがけ、両チームがルールに沿って順番に投球する
- ⑤ どちらのチームが白ボールに近づいているか、近づいている個数分の点数が入る

申込方法

下記の申し込み事項をメールかFAXにて名寄市協までご連絡ください

締め切り 8月31日(火)

■申し込み事項

- ① チーム名/② 担当者氏名・電話番号・住所/③ 出場者のお名前・年齢(3人分)/④ 障がいの有無(有の場合はその種別)/⑤ 参加を希望する時間帯(「午前」「午後」「どちらでもよい」)のうち、第二希望まで

※参加いただく時間帯は、大会の詳細と合わせて、大会10日程度前までに担当者へ封書にてお知らせします。

持ち物 感染予防対策

- ・上靴・マスクを必ずご持参ください。
- ・主催者側で消毒液を設置しますので、来場時・試合前・試合終了後の手指消毒を行っていただきます。
- ・使用する用具は試合毎に主催者側で消毒をします。
- ・大会開催中、定期的に換気を行います。
- ・「三つの密(密閉・密集・密接)」の回避に心がけてください。

参加賞 出場者お一人に1袋プレゼント!



発行 社会福祉法人 名寄市社会福祉協議会

〒096-0011

北海道名寄市西1条南12丁目

名寄市総合福祉センター内

TEL: 01654-3-9862 / FAX: 01654-3-9949

ホームページ <http://www.nayoro-shakyo.jp>

E-mail info@nayoro-shakyo.jp

facebook

<http://www.facebook.com/nayoroshakyo>

【風連支所】

〒098-0507

名寄市風連町西町196-1

名寄市役所風連庁舎内

TEL・FAX: 01655-3-3777

お急ぎの場合や夜間・休日等は「01654-3-9862」におかけ下さい。
FAXは24時間送信可能です。

名寄市社協ホームページ
[PC&携帯でご覧いただけます]
<http://www.nayoro-shakyo.jp>

